

3月3日にカウンターパートに男の赤ちゃんが誕生し、職場の同僚を招待してお披露目がありました。その写真を添付します。



ブータンでは赤ちゃんが生まれると、赤ちゃんのお披露目のため職場の同僚がお祝いによばれるのが習慣のようです。その際、ディナーや酒が振る舞われます。招待されたほうはお祝いのベビー用品や赤ちゃんにかけるお祝いの白いスカーフ、お祝金などを持っていく。

靴

最初にブータン人の家に招かれたときに困ったことは、家に上がる時に靴を脱ぐかどうかであった。

その日は、そのまま靴を履いて上がってよいと言われたので、靴を履いたままでいたが、どうも家の人は靴を脱いで裸足でいる。

その後、職員に赤ちゃんが生まれたというので同僚がお祝いに行く機会がたびたびあった。私も招待されたが、家に上がる時に靴を脱ぐ人と、脱がない人が半々であった。結論としてお客さんは靴を脱いでも脱がなくともどっちでもよいようだ。

住まい

職員の家庭に何回か招待されたが、すべてアパートであった。首都ティンプーの場合はアパートに住んでいる人が多いようだ。

間取りは、居間、寝室、キッチン、トイレ、バスルームといった、一般的なもので、広さは日本のアパートと大差がない。居間も応接セットやサードボードなどがあり現代的であった。ただ、ブータンの場合、仏間があるのが特徴である。

食事

食事は米が主食である。

大体はスプーンで食べるが、手で食べるのも一般的である。

赤ちゃんのお披露目で出されたもの：

まず、ミルク・ティかバター茶（スージャ）が出される。それとつまみとしてビスケットや煎り米（ザウ）やひしゃげトウモロコシ（ゲザシップ）などの伝統スナック菓子などである。

次に、チャンケ（米から作る甘酒のようなもの）が振る舞われる。このときつまみにエディ（刻み野菜：かなり辛い）や干牛肉の佃煮のようなものが出る場合もある。

後は酒が出る。酒はビール、ブランディ、ウイスキー、アラ（焼酎）、ジンなどである。

食事はバイキング方式で、三品から六品くらいである。

最後にヨーグルトが出る場合もある。ドマ（ビンロウジュの実で興奮剤、発汗作用がある。渋く木片を齧っているような感じである）も出る。